

2024年5月22日

各位

会社名 大塚ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長兼CEO 樋口 達夫
(コード番号: 4578 東証プライム)
問合せ先 IR部長 小暮 雄二
(TEL 03-6361-7411)

業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2024年2月14日に公表しました2024年12月期第2四半期累計期間（2024年1月1日～6月30日）の連結業績予想を、下記のとおり修正します。

また、2024年12月期第2四半期において無形資産の減損損失を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2024年12月期第2四半期（累計）の連結業績予想数値の修正

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前 四半期利益	四半期利益	親会社の所有 者に帰属 する四半期 利益	基本的1株 当たり 四半期利益
前回発表予想(A)	百万円 1,037,000	百万円 164,500	百万円 168,000	百万円 164,000	百万円 128,000	百万円 126,000	円 232.17
今回修正予想(B)	1,100,000	185,000	95,000	96,000	76,000	74,000	136.35
増減額(B-A)	63,000	20,500	▲73,000	▲68,000	▲52,000	▲52,000	
増減率(%)	6.1%	12.5%	▲43.5%	▲41.5%	▲40.6%	▲41.3%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年12月期第 2四半期)	947,537	155,047	130,690	138,833	105,058	102,594	189.06

修正の理由

当第2四半期連結累計期間において、アルツハイマー型認知症に伴うアジテーションで開発しているAVP-786の開発中止により減損損失を約1,000億円計上することを見込んでおります。一方、前回発表予想の138円/米ドルから150円/米ドルへと為替前提を見直したことで、前回発表予想に織り込んでいなかったマイルストーン収入により売上収益は約630億円の増収、事業利益は約200億円の増益を見込んでおります。これらの結果、営業利益は前回発表予想から730億円の減益、四半期利益および親会社の所有者に帰属する四半期利益も前回発表予想を下回る見込みとなりましたため、上記の通り業績予想を修正いたします。

なお2024年12月期の連結業績予想につきましては、特に医療関連事業における持続性抗精神病薬「エビリファイ メンテナ/エビリファイ アシムトファイ」、抗精神病薬「レキサルティ」、V₂-受容体拮抗剤「ジンアーク」、抗悪性腫瘍剤「ロンサーフ」のグローバル4製品、およびニュートラシューティカルズ関連事業の売上収益が堅調に推移していることや通期計画で想定している為替レートが円安になる見通しを考慮して、2024年7月31日の決算発表時にお知らせする予定です。

(注) 上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。

2. 減損損失の計上について

当第2四半期連結累計期間において、アルツハイマー型認知症に伴うアジテーションで開発している AVP-786 の開発中止により減損損失を約 1,000 億円計上することを見込んでおります。これにより、AVP-786 の無形資産（仕掛研究開発）の帳簿価額はゼロとなりました。

以上